

◆発表用データ・抄録原稿の提出について

- ①抄録原稿は、配布資料として公開します。発表者は必ず次の要領に従い、提出をお願いいたします。
- ②発表内容が法律違反といったことがないよう、事前に発表者の責任で制度確認を行ってください。また、現制度では規制されているが、ご利用者のために必要であるというような内容は、規制緩和、制度提案の形で積極的に発表ください。
- ③発表する研究や取り組みが、調査研究中または継続中で、完了していなくてもかまいません。
- ④利用者の名前・写真等を掲載する場合、個人情報保護法の観点から、必ずご本人またはご家族の承諾を得てください。
- ⑤発表データ・抄録原稿の差し替えは、資料印刷及び当日進行の関係上、締め切り後は受け付けできません。
- ⑥提出にあたっては、すべてデータベースでの提出とします。(紙媒体での提出は受け付けません。)

◆抄録原稿の書き方について

- ①抄録原稿は、別添様式1に従い作成し、1演台につきA4サイズ1ページとします。
- ②抄録原稿は手書きではなく、必ずパソコンを用いて入力してください。
- ③抄録原稿見本のフォント(書体)やポイント(字の大きさ)、上下左右の余白(ほぼ20mm)等、様式のページ設定を変更することなく、記載にしたがって作成してください。色は黒一色とします。
- ④本文の文字の大きさは、9ポイントで記載して2段組(左右の2段に分ける)としてください。
- ⑤取り組みと最も関係のあるキーワードを必ず3つ重要度順に記載してください。
- ⑥抄録の構成は、様式1の内容を参考に、Ⅰ.<取り組み課題>Ⅱ.<具体的な取り組み>Ⅲ.<活動の成果と評価>Ⅳ.<今後の課題>Ⅴ.<参考資料など>で構成し、章の区切りにこれらの表題をセンタリング(中央揃え)で入れてください。
- ⑦使用する参考文献等は確実に記載し、また、許諾等が必要なデータ等についても、その手続きが完了している旨を記載してください。(特に、個人情報や著作権が含まれるもの)
- ⑧文書表現はできるだけ簡潔に記載してください。

◆当日発表用データの作成について

- ①抄録原稿とは別に、発表用データを作成してください。
- ②発表に使用するOSはWindows 7以降で作成したパワーポイント 2007-2016のバージョンとします。また、Windows vista・XP、Macintosh等で作成したデータについては対応できませんのでご了承ください。(申し込みの際に、バージョンの年式を記載してください。)
- ③スライド枚数は発表時間を踏まえ、15枚程度(1スライド1分程度)です。
- ④スライド内に音声または動画がある場合は、その旨を連絡ください。(再生ソフトによっては対応致しかねます。)
※動画や音声の使用は、あくまでも取り組みの内容や効果等を伝える際に補足するものです。
- ⑤当日発表に使用するパソコンはネット接続をしておりません。
- ⑥発表用データを提出する前に、作成時とは別のパソコンで映像等の確認をしてください。
- ⑦本発表会は、他の施設・事業所及び職種に公開します。発表に用いるデータや用語等は客観的に理解しやすいものを使用してください。
- ⑧スライドは会場全体から見やすい色やフォント・文字の大きさとなるよう作成してください。
- ⑨スライドに使用する参考文献等は確実に記載し、また、許諾が必要なデータ等についても、その手続きが完了している旨を記載してください。(特に、個人情報や著作権が含まれるもの)
※倫理委員会等第三者による検討・承認がなされていることを推奨します。

◆当日発表の方法について

- ①発表に使用するパソコンは主催者が準備したものを使用していただきます。パソコンの操作は、発表者本人もしくは発表補助者(操作する人)で行ってください。
- ②発表制限時間は1事例あたり15分以内とします。審査員が経過時間をベルでお知らせします。
(開始:発表者の喋り出し、開始から12分経過時:ベル1回、開始から15分経過時:ベル2回)
- ③発表が制限時間を越えて終わらない場合は、司会者が中断する事があります。(審査の際、減点対象にもなります。)
- ④発表終了後、5分程度の質疑応答時間を設けます。発表者は質問に対し、的確かつ簡潔に回答をしてください。

令和3年度老施連 事例研究発表会 評価基準

《趣 旨》

この基準は、老施連 事例研究発表会において、日々の介護現場における実践研究を発表していただくことで、参加者が持ち帰り各施設において実践していくことができる効果の高い発表を評価するものです。

本基準に基づいて採点評価を行い、中国地区老人福祉施設研修大会分科会発表において広島市代表として推薦する事例を選出します。

《評価基準の概要》

次に挙げる 10 項目を各 5 点満点で採点を行い、その合計点を最終評価点数として、点数の高いものから順に選出します。

同点の場合には審査員による協議（投票・採決を含む）で決定します。

発表時間（15 分間）をオーバーした場合には合計点より 3 点を減点したものを最終評価点数とします。

1. 企画力

- ①目的設定から、実践～結果～考察が一連のプロセスとして明確に表現されている。
- ②抄録原稿に、取り組みと関係の深いキーワードが記載されており、内容の把握が参加者にとって容易である。
- ③発表資料で箇条書きやグラフをうまく使い、参加者が理解しやすいよう工夫がなされている。

2. 発表力

- ④抄録原稿と発表資料の説明が統一されており、参加者にとって見やすい内容である。
- ⑤発表態度（声の大きさ、身振り手振り、目配り等）が参加者にわかりやすい。
- ⑥発表内容のポイントを押さえた簡潔な話である。
- ⑦審査員からの質問に対し、適切に回答できている。

3. 応用力

- ⑧発表内容が他施設においても参考となるものである。
- ⑨科学的根拠に基づいて分析・考察がなされ、現在の高齢者ニーズに応える内容である。
- ⑩分析に基づいて、次の段階に結びつく適切な考察がなされている。